

## 令和5年度 事業報告

我が国の景気は緩やかに回復しつつあるものの、一部地域ではインフレや能登半島地震などによる消費活動への影響から回復に向けたテンポが緩やかになっています。先行きについては、雇用、所得状況が改善する下で、各種政策の効果から緩やかな回復が続くことが期待されます。

ただし、アメリカの金融引き締め動向や中国の不動産不況など海外経済の下振れが我が国の景気を押し下げるリスクとなっており、また、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争などが国内経済に与える影響に十分注意する必要があります。

このような状況の中、当協会は川崎港の振興発展に向けた諸事業に取り組み、市民に開かれた港づくりを中心に、更には港湾関係者の利便性の向上と福利厚生の実現を図り、川崎港の振興・発展に資する事業を積極的に推進してまいりました。

### 【公益目的事業－1】

#### ——川崎港の国際競争力を強化し利用を促進する事業——

### 1. 港湾の国際競争力の強化のための港湾施設の整備促進及び運営の改善

#### ・「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の運営に関する事業

関係官民19団体で組織する「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の事務局を川崎市港湾局と協力して担い、各参加団体より提出された課題について協議会の傘下にある「改善部会」で一括して取り組んできた。「改善部会」では、東扇島地区及び川崎港全般に関わる課題に取り組み、上記課題の進捗状況を検討、確認する場として改善部会を開催することとし、令和5年7月5日、令和6年1月22日に改善部会小委員会を開催し、進捗状況報告書の内容を再確認した後、令和5年8月9日、令和6年2月26日に改善部会を開催した。

また、「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」を令和6年3月14日に開催し、令和6年2月26日の「改善部会」において報告された事項について、確認を行った。

#### ア 第1回「改善部会」小委員会の開催

日 程 7月5日

#### 議 題

課題の進捗状況確認

- ① 港湾施設（タグボート基地）⇒東扇島小型船だまりは令和5年度以降も継続して工事
- ② 交通（違法駐車取締まり等）⇒台切シャーンは監視指導員強化によりゼロ荷待ちトラックは監視カメラによる抑止力による抑止効果
- ③ 港湾施設（照明灯・接岸灯が暗い、少ない）⇒令和5年度は外貿3号岸壁背後の荷捌照明を対応

- ④ 環境改善（東扇島島内の美化（ゴミ対策））⇒神奈川県トラック協会のホームページにゴミの多い場所を掲示。「ポイ捨ては犯罪」という広告を作成し、立地企業やコンビニエンスストアに掲示を依頼し啓発PR活動を推進
- ⑤ 交通（トラック待機所）⇒企業訪問によるトラック待機所利用頻度促進

イ 第1回「改善部会」

日 程 8月9日

- 議 題 1 課題の進捗状況確認  
改善部会小委員会での議題確認
- 2 新規課題
- 3 その他

ウ 第2回「改善部会」小委員会の開催

日 程 1月22日

議 題 課題の進捗状況確認

- ① 港湾施設（タグボート基地）⇒東扇島小型船だまりは令和5年度以降も継続して工事
- ② 交通（違法駐車取締まり等）⇒荷待ちトラック待機所の活用を促し、東扇島東公園横の待機所については利用台数が増加傾向にある
- ③ 港湾施設（照明灯・接岸灯が暗い、少ない）⇒外貿の接岸灯については、太陽電池式LED誘導灯を設置していく予定
- ④ 環境改善（東扇島島内の美化（ゴミ対策））⇒川崎港環境改善対策協議会の実務者レベルの小委員会を設置し、一斉清掃に関する意識調査を立地企業に対して行い、今後の一斉清掃の手法を検討。「ポイ捨ては犯罪」という広告を作成し、立地企業やコンビニエンスストアに掲示を依頼し啓発PR活動を推進
- ⑤ 交通（トラック待機所）⇒企業訪問によるトラック待機所利用頻度促進

エ 第2回「改善部会」

日 程 2月26日

- 議 題 1 課題の進捗状況確認  
改善部会小委員会での議題確認
- 2 新規課題
- 3 その他

オ 令和5年度「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の開催

日 程 3月14日

- 議 題 1 改善部会の活動状況、課題の進捗状況について
- 2 新規課題
- 3 その他

## 2. 貨物の集荷及び船舶の誘致活動

### (1) 「川崎港戦略港湾推進協議会」に関する事業

「川崎港戦略港湾推進協議会」（平成23年9月設立）は、川崎市、川崎商工会議所、川崎港運協会、及び川崎港振興協会の4団体で構成され、コンテナターミナル利用の

一層の拡大を図るための課題や方策を検討し、集荷とサービスレベルの向上を目指して、活動を行っている。推進協議会の会長を当協会の齋藤 文夫会長が務め、推進協議会の下部組織である2部会（ポートセールス部会・施設計画部会）のうち、ポートセールス部会の事務局を当協会が担い、施設計画部会には委員として参加した。

コンテナターミナルでの取扱数量は、令和2年度に初めて16万TEU超えを果たしたが、令和3年度以降3年連続減少となった。新型コロナウイルス感染症に端を發した世界的なコンテナ物流の混乱は、川崎港においても各船会社による航路のスケジュール調整の影響を受け、主要顧客が東京港・横浜港へシフトせざるを得なくなる状況であり、10万TEUを割り込む状況となった。

ア ポートセールス部会開催及び施設計画部会へ参加

- ・ 第1回ポートセールス部会の開催

日 程 6月5日

- 議 題 ① 令和4年度 活動状況について  
② 令和5年度 事業計画について  
③ その他（海外ポートセールス等）

- ・ 第2回ポートセールス部会の開催

日 程 10月30日

- 議 題 ① 令和5年度 上半期の事業活動について  
② 海外ポートセールス出張報告  
③ FOODディストリビューション展出展報告  
④ その他（海外出張予定、バン、シャーシプール状況 他）

- ・ 第3回ポートセールス部会の開催

日 程 3月7日

- 議 題 ① 令和5年度 事業報告書（案）及び収支決算書（案）の承認  
② 川崎港を取り巻くマーケット状況について  
③ 台湾出張報告  
④ 川崎港コンテナターミナルの状況について  
⑤ 取り扱い貨物量の目標変更  
⑥ 令和6年度 事業計画（案）及び収支予算（案）の承認  
⑦ その他

- ・ 第1回施設計画部会へ参加

日 程 10月13日

- 議 題 ① 新規コンテナ関連施設の供用開始日について  
② その他・意見交換

イ 国内ポートセールスの実施

- ・ 食品物流に特化したFOODディストリビューション展という国際展示会に川崎港戦略港湾推進協議会ポートセールス部会として出展し、約200名の方々と面談し、また300部の川崎港パンフレットを配布した。
- ・ 輸出貨物獲得に向けた取組み  
手厚くした輸出貨物補助金制度を利用した輸出顧客獲得

自動車関連の輸出貨物取扱獲得に向けて、川崎港としてスバル北米向けCKDのバンニングを開始した。

中古自動車、自動車部品関連、危険品タンクコンテナの取り込み

- ・ 新規荷主の取り扱い拡大  
家電、アパレル、日用雑貨など幅広い品目

#### ウ 友好船社対応

- ・ ワンハイラインとの連携強化（11月13日）  
台湾台北のワンハイラインズ本社、台北ターミナルへの表敬訪問  
参加者 川崎港運協会、川崎商工会議所、  
川崎市港湾局長、誘致振興課長
- ・ SITC、ONE、ワンハイ、南星海運ジャパンとの定期交流  
（5月～10月、1月 他）

#### エ 海外ポートセールス活動

令和5年度活動計画の中で、海外ポートセールスは5月に友好港であるベトナム ダナン港訪問、6月にベトナム ハノイ、ホーチミン訪問、11月に台湾・台北を訪問し、ワンハイ本社への表敬訪問を実施した。中国へのポートセールスに関しては15日以内のビザ免除措置（短期ビザ発給）が停止されており、海外ポートセールスの実施は見送った。

- ・ ベトナム ダナン港への訪問  
実施日 5月24日～5月27日（2泊4日）  
出張者 川崎市港湾局長、港湾管理センター副所長、  
誘致振興課長、誘致振興担当係長  
訪問先 ダナン港訪問し、港長以下幹部との意見交換及びティエンサ港の視察
- ・ ベトナム ハノイ・ハイフォン港、ホーチミンへの訪問  
実施日 6月18日～6月23日（4泊6日）  
出張者 川崎港運協会、東洋埠頭、川崎臨港倉庫埠頭、川崎港振興協会  
訪問先 SITCベトナム、ベトナム商工会議所、JETROベトナム他  
企業数社
- ・ 台湾 台北ワンハイ本社、ターミナル表敬訪問  
実施日 11月12日～11月14日  
出張者 川崎市港湾局長、誘致振興課長、東洋埠頭、川崎商工会議所  
訪問先 台北ワンハイ本社、台北ターミナル表敬訪問、  
日本台湾交流協会台北事務所、台日商務交流協進会  
その他顧客との意見交換

## （2）横浜川崎国際港湾株式会社に関する事業

国際コンテナ戦略港湾政策に基づき設立された横浜川崎国際港湾株式会社の川崎事業所と連携し、川崎港戦略港湾推進協議会とともに協力して川崎港の更なる発展を図った。

### (3) 京浜3港広域連携に関する事業

毎年行われている港湾振興協会等事務連絡会において、横浜・東京各港の振興協会と情報交換を行った。

### (4) 川崎港振興協会独自のポートセールスに関する事業

荷主企業及び船会社、フォワーダー等物流企業を訪問し、コンテナターミナルの更なる発展に向けて情報収集及び川崎港利用の誘致セールスを行った。

### (5) クルーズ客船誘致に関する事業（インバウンド等誘客に関する事業）

川崎港の利用促進につながる観光事業の一環として、クルーズ客船誘致事業の展開方法等を模索するため、クルーズ船誘致を実施している金沢港を運営している石川県庁を昨年訪問した後の、コロナ明けの動向について情報交換を行った。

## 3. 初入港船歓迎行事

川崎港に初入港する船舶の乗組員に記念品等を贈呈し、歓迎の意を表することにより、川崎港をPRした。令和5年度は、合計で10隻の外航船が初入港した。

4月	1隻	8月	0隻	12月	2隻
5月	1隻	9月	2隻	1月	1隻
6月	0隻	10月	1隻	2月	2隻
7月	0隻	11月	0隻	3月	0隻

## 4. 国際交流事業（友好港、友好都市との交流事業）

5月に令和元年度以来4年ぶりとなるダナン港訪問を行った。

（5月24日～27日、港湾局長以下4名）

7月に中国の連雲港 港口集団（13名）が川崎港に来訪（7月12日）し、交流港の覚書を更新した。

## 5. 「川崎港便覧」の製作・販売

川崎港港域内の港湾施設、企業名等を記した地図に行政機関、施設使用料、統計資料等を掲載した川崎港便覧を作成し、ポートセールスに使用するほか、川崎港利用者等に頒布した。

川崎港便覧2023年版

発行日 7月11日

発行部数 日本語版 3,500部／英語版 350部

## 6. その他の振興事業

・広報について

川崎港の振興及び当協会の事業を広報するため、日刊紙、業界紙及び地域情報誌等に情報を提供した。

### 【情報提供先】

- 7月20日 日本海事新聞「海の日記念特集号」
- 7月28日 タウンニュース川崎区・幸区版「暑中見舞い名刺広告」
- 1月 1日 タウンニュース川崎区・幸区版「元旦号年賀名刺広告」
- 1月 5日 日本海事新聞「新年特集号」

## 【公益目的事業—2】

### ——港湾施設を核に、市民に開かれた港づくりの推進を図ることと併せて港湾の利用促進を図る事業——

#### 1. 市民と港を結ぶ事業

川崎港の役割及び海事思想について市民の理解を深めるとともに、川崎マリエンの利用を促進するため、令和5年度は次の事業を実施した。

また、各事業を実施するに当たってアンケート等を行い、事業効果を確認して、その後の事業の参考とした。

#### (1) 第50回川崎みなと祭りの開催

川崎港への市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高める機会を提供するため、「みんなの川崎港」をテーマに関係機関・団体と連携、協力して、「第50回川崎みなと祭り」を開催した。7月の「親子海釣り教室」を皮切りに年間を通して合計13回のイベントを実施するとともに、10月には、50回の節目となる「川崎みなと祭り」のメインイベントを開催した。

##### 【メインイベント】

- ・開催日 10月8日・9日
- 来場者 148, 850人

##### 【年間イベント】

・親子海釣り教室	2回	参加人数	92人
・川崎港見学ツアー	1回	参加人数	40人
・川崎港クルーズ	4回	参加人数	258人
・はだし運動会	1回	参加人数	56人
・川崎港夜景見学ツアー	1回	参加人数	31人
・川崎港見学ツアー（特定校）	4回	参加人数	453人
合計／13回		参加総人数	930人

#### (2) 映画上映会の開催

マリエンシアターで小学生以下の子供とその保護者を対象に、夏季と春季に上映会を開催した。

- ・上映日 7月22日
- 上映作品 「映画ねこねこ日本史 竜馬のはちやめちやタイムトラベルぜよ！」
- 来場者 60人

- ・上映日 3月17日  
上映作品 「映画すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ」  
来場者 47人

### (3) 初日の出観賞会の開催

今年度は昨年度より定員を30人増やし、100人の事前応募制にて開催した。

- ・参加者 93人

### (4) 夏休み工作教室の開催

今夏は、新型コロナ5類移行後となり、4年ぶりに夏休み期間での開催となった。ボトルアート教室の作品目として初登場となった風鈴も好評であった。

- ・開催日 8月19日 ボトルシップ教室50人、ボトルアート教室16人  
8月20日 ボトルシップ教室52人、ボトルアート教室30人

### (5) 夏休み海洋環境教室の開催

東扇島東公園人工海浜において、小学生とその保護者を対象に専門家の指導による水産動植物の観察や生態の調査を行う体験学習活動を実施し、川崎の海に親しむとともに海洋環境保護の大切さを学んだ。

- ・開催日 7月25日  
参加者 38人

### (6) ボトルシップ工作教室指導者養成コースの開催

子供向けボトルシップ工作教室の指導者をめざす成人を対象として、基本から高度な技術まで修得できる養成コースを毎月1回、1年間で12回開催した。

- ・参加者 15人

### (7) イルミネーション装飾及びライトアップの実施

クリスマスシーズンにイルミネーション装飾を実施するとともに、川崎市と協力して啓発キャンペーンの際には業務棟・交流棟壁面のライトアップを実施した。

- ア 自閉症啓発・発達障害啓発として、4月2日から4月8日までブルーライトアップを実施
- イ 世界自殺予防デーに伴い、9月10日から16日にグリーンライトアップを実施
- ウ 手話言語の国際デーに伴い、9月23日にブルーライトアップを実施
- エ 世界メンタルヘルスデーに伴い、10月7日から10月13日にシルバーライトアップを実施
- オ 11月14日から12月25日までクリスマスイルミネーションを点灯
- カ てんかんの啓発キャンペーンに伴い、3月19日から26日にパープルライトアップを実施

### (8) 第13回川崎マリエン写真・児童絵画コンクールの開催

川崎港を身近に感じてもらい、川崎港に接する機会の創出のために京浜臨海部を題材とした作品のコンクールを開催した。

※入賞作品の展示は、3月29日～4月11日に川崎アゼリアにて行い、全応募者展示は令和6年4月20日～21日に川崎マリエン体育館にて行う予定

- ・応募資格 児童絵画の部は小学生以下、写真の部は制限なし
- ・応募期間 11月1日～1月31日
- ・応募点数 写真65点、絵画97点
- ・選考会 2月20日
- ・表彰式 3月20日

### (9) フリースペースの貸出

川崎マリエン交流棟1階のコミュニティホールを市民グループ等の絵画・写真等の展示スペースとして利用できることをブログやチラシなどにより発信するとともに、年間を通じてミニチュアカーの展示を継続し、自動車の輸出港としてのアピールを行った。また、児童絵画・写真コンクールの入賞作品の展示を行った。

### (10) 展示の充実

川崎港の統計データパネルを更新する等、川崎マリエンにおける展示の充実を図ることにより、タワー棟10階展望室、交流棟2階マリエンプラザ、1階コミュニティホールへの回遊性を高め、川崎マリエンの魅力度の向上を図った。

### (11) 夏休み川崎港見学会の開催

川崎港の役割、重要性等の理解を深める目的で、夏休みの期間を利用して、小学生とその保護者を対象に港湾局の巡視船「あおぞら」による港内見学やプリンス海運株式会社の自動車専用船の船内見学等を行う見学会を開催した。

1回目	7月26日	9組	18人
2回目	7月28日	10組	20人
3回目	8月2日	11組	22人

### (12) 川崎港魅力体験ツアーの実施

市民を対象に、港湾施設や市民利用施設を見学するとともに、夜間も活動を続ける川崎港と臨海部の工場群を海上から視察し、役割や重要性等を理解しながら、川崎港の魅力を体験するツアーを区役所との共催で3回開催した。

1回目	11月29日	川崎区役所	21人
2回目	2月21日	多摩区役所	30人
3回目	3月6日	幸区役所	37人

### (13) 港内案内事業の実施

市民、研究者、事業者等を対象に巡視船を利用して海上から川崎港を案内する業務を当協会が受託し、令和5年度は、合計22回の案内業務を実施し538人の乗船者に川崎港の歴史、機能、役割、重要性等についての説明を行った。

また、川崎市と連携した東扇島防災浮棧橋の平時利用による港内観光等の試行実施については、年間で26回の利用があった。

### (14) スポーツ教室及び大会の開催によるスポーツの振興

川崎マリエンの体育館、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室を利用して、各種スポーツの競技人口の拡大と併せて施設の利用を促進するため、教室及び大会を開催した。



- ・夜間テニス教室／春の部 5月18日～7月3日実施  
全8回 107人参加
- ・夜間テニス教室／秋の部 9月11日～10月23日実施  
全8回 97人参加
- ・夜間バドミントン教室／夏の部 6月6日～7月25日実施  
全8回 113人参加
- ・夜間バドミントン教室／秋の部 10月17日～12月5日実施  
全8回 89人参加
- ・昼テニススクール 4月5日～3月27日実施  
全44回 197人参加
- ・昼テニス大会 4月12日～3月14日実施  
全10回 102人参加
- ・日帰り研修／ビーチバレーボール 4月9日～12月24日実施  
全5回 98人参加
- ・日帰り研修／ビーチテニス  
第1回 11月3日実施 20人参加
- ・ビーチバレーボール大会  
第1回 11月26日実施 17人参加
- ・ビーチテニス大会  
第1回 11月25日実施 19人参加
- ・トレーニング教室 6月15日～3月21日実施  
全10回 19人参加

#### (15) ニュースポーツ普及事業の実施

川崎マリエンを利用するニュースポーツ普及のための講習会を4回開催した。

- ア 第1回 6月3日実施 15人参加  
実施種目 カラーリング、室内ペタンク
- イ 第2回 7月8日実施 24人参加  
実施種目 シャフルボード、スカットボール、羽根っこゲーム
- ウ 第3回 9月9日実施 8人参加  
実施種目 ステックリング、バグゴ
- エ 第4回 10月21日実施 15人参加  
実施種目 カーリンコン、ラダーゲッター

#### (16) 宿泊体験事業の実施

川崎マリエンの特色を発揮し、市民が川崎マリエンに親しむ機会を創出することにより、施設の活性化並びに川崎港及び川崎マリエンの新たな魅力創出につなげるため、青少年育成団体を対象とする研修を実施した。

- ・実施日 7月22日、23日
- 参加者 67人（2日間）

#### (17) 茶道教室の開催

和室を利用した伝統とおもてなしの心を体験する茶道教室を、昨年同様道具の使

いまわしを極力減らす対策を講じながら開催した。また、教室の開催に先駆け、無料体験会を実施した。

- ・茶道教室 6月7日～3月27日実施  
全20回 116人参加
- ・無料体験会 5月24日実施 5人参加

### **(18) 観光客の誘致**

一般社団法人川崎市観光協会と連携し、一般財団法人夜景コンベンション・ビューローが主宰する「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエン展望室等を観光名所として、国内外の観光客や修学旅行生に向けて情報発信を行った。

### **(19) 川崎港紹介資料の制作**

市内小学校の社会科見学で来館する児童等の理解を促進するための副教材「川崎市ぐるっと探検」の配布を行った。

- 来館校数 100校
- 来館生徒数 11,105人

### **(20) ワカメ祭りの開催**

川崎の海の環境保全の大切さを理解する機会を提供するため、関係団体と連携、協力して、川崎港内で養殖したワカメの種付け体験及び収穫祭を開催した。

- 種付け体験 実施日 12月10日
- 収穫祭 実施日 2月18日

### **(21) 野鳥及び樹木の保護・観察**

川崎港の緑と野鳥が共存する貴重な環境である川崎マリエン及び隣接する東扇島中公園において、市民参加による「野鳥及び樹木の観察会」を実施した。

- ・実施日 3月17日
- 参加者 71人

### **(22) スポーツ合宿の開催**

川崎マリエンの施設利用、スポーツ振興を通じて川崎港の振興に寄与するとともに、オリンピックやトップアスリートによる指導・研修を受ける環境を提供し、次世代を担う選手を育成する事業として実施している。令和5年度は3月8日から10日までの3日間、23歳以下を対象に、ビーチバレー場にてビーチバレー実技の研修、研修室にてコンディショニング等の研修を開催した。個人事情による通い参加もあり、宿泊参加と通い参加の3日間延べのスポーツ合宿参加人数は36人だった。

### **(23) 海苔づくり体験教室の開催**

体験学習施設を利用して、市内の小学生等を対象とした海苔づくり体験教室を川崎港で活動するNPO法人と連携して合計2回開催した。

- ・開催日 2月20日／2月23日
- 参加者 91人

### **(24) ドローン講習会の開催**

ドローンの操縦法を学ぶ体験講習会を市内企業と協力して開催した。

- ・開催日 12月16日
- 参加者 2人

### **(25) 親子釣り教室の開催**

子供たちが釣りの楽しさや、海洋環境を学ぶことを目的に、東扇島西公園において親子釣り教室を開催した。川崎港で釣りができることの認知度や東扇島西公園の「釣り施設」としての知名度を向上させ、更なる賑わいの創出と施設の活性化を図った。

・実施日 6月24日

参加者 13組26人

### **(26) 車両の駐車講習会の開催**

川崎マリエンの駐車場を活用して、自動車の安全で安心な駐車や車庫入れの技術向上を目的に専門の指導員による講習会を開催した。

・開催日 11月23日

参加者 7人

### **(27) ビーチフィットネス／健康体操・ストレッチ教室の開催**

ビーチコートや研修室を利用し、フィットネスやストレッチ等の健康維持や体力増進を目的とした教室を年2回開催した。

ア 第1回 開催日 7月26日

参加者 12人

イ 第2回 開催日 8月23日

参加者 14人

### **(28) なわとび教室の開催**

市内小学生の体力増進となわとびの技術力の向上を図ることを目的として開催した。

・開催日 9月18日

参加者 64人

### **(29) 夜景写真教室の開催**

例年、写真撮影の専門家を講師に招いての座学と実技の夜景写真教室を開催した。今年度は新たに夕景写真と夜景写真を分けて実技指導を行った。

・開催日 12月5日

参加者 20人

### **(30) パブリックビューイングの開催**

マリエンシアターの活用のため、パブリックビューイングの開催に向け準備していたが、実施に適した放送がなかった。

### **(31) 季節の工作教室の開催**

使用済みのペットボトルを再利用して、エコな材料で空気砲を作成する工作教室を開催した

また、ストラックアウトを工作教室会場に設置し、自分の作成した空気砲でその場で遊んでもらえるようにした。

ペットボトル空気砲工作教室

・開催日 9月3日

参加者 64人

### **(32) さくらの時季の野点の開催**

川崎マリエンの敷地に多くの桜の木が植えられていることから、桜の開花時季に茶道の先生による「さくらの野点」の開催を計画したが、強風などにより困難と判断されたため、マリエン9階リフレッシュルームにおいて、眺望を楽しみながらのお茶会を開催した。

- ・実施日 3月27日
- 参加者 6人

### **(33) ふれあい移動動物園の開催**

中公園のキャンプ場スペースを利用し、来園者による小動物とのふれあい体験を目的としたふれあい移動動物園をあそびの日と同日開催した。

- ・実施日 9月3日
- 参加者 800人

### **(34) あそびの日の開催**

川崎マリエン各種施設を団体や組織に利用してもらい、子どもたちを対象にマリエンの周知と今後の利用促進を図るため、(一社)川崎市子ども会連盟と協力し、川崎マリエンあそびの日を9月3日に開催した。今年度は川崎市教育委員会の後援も取り付け、各小学校に案内を配るなど集客にも力を入れた。

- ・実施日 9月3日
- 参加者 908人

### **(35) キッズスポーツ体験教室の実施**

子どもを対象にパドルテニス、ボッチャ、スカットボール等の体験と講習を実施した。

- ・実施日 9月18日
- 参加者 64人

### **(36) 焼き芋をつくろう**

東扇島中公園を利用し、子供たちも参加して野外で焼く楽しさや、食べる楽しさを体験できる焼き芋づくりイベントを開催した。

- ・実施日 1月27日
- 参加者 18人

### **(37) 中公園を花で飾ろう**

東扇島中公園のベンチ横園路脇のスペースを活用して作った花壇に、市民参加による花苗を植えるイベントを行った。

- ・開催日 7月23日
- 参加者 67人

### **(38) かわさき地産地消の芋煮会**

東扇島中公園バーベキュー場で芋煮会を開催した。

- ・開催日 1月27日
- 参加者 4組18人(当日欠席1組5人)

### **(39) 夏の大納涼祭り**

川崎港運協会、川崎海事広報協会、川崎港湾福利厚生協会、東扇島協議会の協賛で、中公園キャンプ場を使用射的、ヨーヨー釣りなどの縁日を楽しんでもらい、川崎マリエンからの夕焼けを見学後、東扇島北公園浮棧橋より納涼船に乗船し、川崎市内在住及び東扇島内企業在勤者及びその家族が川崎港の夜景を楽しみながら納涼気分を味わう夏の大納涼祭りを開催した。

・開催日 8月25日

参加者 128人

### **(40) 紙飛行機を作って飛ばそう**

子どもたちを対象に、東扇島中公園において紙飛行機を手作りして飛行距離や飛行時間を競うイベントを開催した。

・実施日 1月27日

参加者 9人

### **(41) グラウンドゴルフ体験会の開催**

東扇島中公園において、グラウンドゴルフのコースを設置してグラウンドゴルフの体験会を開催した。

・開催日 9月3日（あそびの日に開催）

参加者 200人

・開催日 9月18日（キッズスポーツとして開催）

参加者 64人

### **(42) 樹木の名木板取り付けワークショップ**

環境保護への関心を高めるため、川崎マリエン及び東扇島中公園に植樹されている樹木の名木板を製作し取り付けるワークショップを開催した。

・実施日 3月17日

参加者 71人

### **(43) 夜桜のライトアップ**

桜の開花時期に東扇島中公園の桜のライトアップを行い、訪れる市民にお花見の場所を提供した。

### **(44) 子どもの安全な自転車利用に関する啓発活動の実施**

東扇島中公園の貸自転車利用者に対して、自転車の安全で安心な運転技術の向上を目的に、警視庁より発行されているリーフレットを配布し安全な利用の啓発に努めた。

### **(45) フットサルコートを提供**

体育館でのフットサル利用を可能とし、市内で活動する個人参加型フットサルの団体が定期的に個人参加型フットサルの開催を行うよう後援を行った。

### **(46) 定期演奏会の開催誘致**

川崎マリエン体育館の多目的利用を促進する一環として、演奏会やミニコンサート等の誘致を図るための広報活動を行い、今年度はマーチングバンドの利用があった。

### **(47) 中公園でのキャンプエリア開設**

東扇島中公園に開設したキャンプエリア利用に際して、隣接するバーベキュー場と

の利用を組み合わせ、キャンプ場やバーベキュー場の利用率の向上に結び付けた。また、令和5年5月より一部サイトの区画の見直しを行い、より利用者の利便性に努めた。

・利用件数 日帰り 253件  
宿泊 122件

#### (48) 川崎マリエン内へ写真撮影スポットの施設整備

マリエンのファン獲得とSNSによる情報拡散を目的として、インスタグラムフレームを展望室内にて自由に使用できるよう設置している。また、グループでの撮影促進策として、1Fロビー入口の川丸くんパネル横にスマートフォン用の三脚を新たに設置した。

#### (49) 共催・後援等事業の実施

川崎マリエンのビーチバレー場、テニスコートなどのほか、東扇島の市民利用施設の周知、PR、利用促進を図るため、イメージアップ効果のある各種大会を誘致するとともに、各種団体が主催する事業を積極的に共催・後援した。

[共催・後援した主な大会等]

ア 令和5年度川崎マリエンジュニア育成テニス教室

イ 第135回、第136回、川崎市実業団対抗テニストーナメント大会

ウ 神奈川オープンベテランテニス2023、ベテランウインターテニス2023

エ バイクナビ・グランプリ2023 第22回、第23回 川崎マリンエンデュアロ

オ ビーチバレー川崎市長杯

カ JBVチャレンジャーシリーズ2023川崎大会 第1回、第2回、第3回

キ 川崎港トライアスロン in 東扇島 兼 川崎キッズ・ジュニアトライアスロン大会

## 2. 港湾及び海事関係者の福利厚生事業

川崎マリエンのスポーツ施設、会議室、シャワー設備等や東扇島中公園を港湾及び海事関係者の利用に供するほか、様々な機能を活用して実施する各種スポーツ教室及び大会、ニュースポーツ普及事業、映画上映会等を開催し、川崎臨海部で働く人々のリフレッシュ、健康づくり、交流の場とすることにより、福利厚生の充実を図った。

## 3. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、設置目的に従い、体育館、会議室・研修室、展望室、テニスコート、ビーチバレー場、トレーニング室、バーベキュー場、キャンプ場、駐車場等の市民利用施設・設備及び港湾事務室を適切に管理・運営するとともに、快適な環境及び魅力ある施設の運営により利用者の拡大に努めた。

### ア 体育館

利用可能なアマチュアスポーツ以外で、ダンスなどでの利用に供した。その他の利用目的にも対応し、小中学生のチアリーディングやマーチングバンド、オーケストラの練習等に貸し出しをした。

また、毎週木曜日及び専用利用がない場合は市民開放として貸し出した。

#### イ 会議室・研修室

利用促進を図るため、会議室及び研修室において使用料の半額化を継続した。また、ドラマ等の撮影場所として貸し出し、川崎マリエンのPRに努め、知名度アップに貢献した。

#### ウ 展望室

展望室と望遠鏡の無料化を継続するとともに、ジオラマにより川崎港と周辺地域の様子を具体的に表示し、展望室からの眺望と併せて利用者の方々に楽しんで頂いた。また、ホワイトボードに季節に応じたキャラクターのマグネット等を設置し、来館者がより楽しめるような演出を施した。

#### エ テニスコート

利用者からの要望に適宜対応し、また備品管理を行い利用者の利便性の向上を図った。

#### オ ビーチバレー場

ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点として指定選手やトップアスリートの練習会場としての利用の他、ビーチバレーの関係団体と連携を図り、大会・練習会・講習会を開催し、ビーチスポーツの普及に貢献した。

#### カ トレーニング室

利用者がいつでも初回説明会を受けられるようにするなど、タワー棟9階のトレーニング室利用に向けた適切な管理運営を行った。

また、交流棟2階のトレーニング場は、ビーチバレーアスリートのトレーニング場所として利用してもらうとともに、適宜備品管理を行い、利用者の利便性の向上を図り、ビーチスポーツの普及に貢献した。

#### キ 駐車場

管理運営を専門業者に委託し、より効率的な運営を行った。また、電気自動車用急速充電器の設置・管理を行った。

#### ク 交流棟受付及びロビー、9階リフレッシュルーム等の季節の飾り付け

川崎マリエンの季節感を出すために、職員自らが「春」「イースター」「端午の節句」「七夕」「ハロウィン」「クリスマス」「お正月」「雛祭り」等の飾り付けを行った。

#### ケ サービス向上委員会及び管理運営個別業務自己評価点検委員会の開催

川崎マリエンのより快適な環境及び魅力ある施設の利用者サービス向上を図るため、毎月1回受託業者間の情報提供や意見交換を行った。

#### コ 会館入居者連絡会議の開催

川崎マリエン入居者への情報の提供や意見交換の場として「会館入居者連絡会議」を3回開催した。

#### サ 川崎マリエン利用者懇談会の開催

川崎マリエンの運営及び事業について、市民及び利用者の意見を反映させるため、12団体から推薦された委員による年2回の川崎マリエン利用者懇談会を開催した。第1回を6月21日、第2回を2月29日に開催した。

- ・構成団体名
  - 川崎区連合町内会、川崎区スポーツ推進委員会、川崎市立小学校、(公財)川崎市スポーツ協会、川崎市バレーボール協会、川崎市テニス協会、川崎マリエン・ボトルシップ会、(一財)川崎港湾福利厚生協会、東扇島協議会、港湾局川崎港管理センター、日本バレーボール協会、(公社)川崎港振興協会
- シ 事業モニタリングの実施
  - 施設の利便性や利用率向上の為に、利用者の意見を取り入れ、Xにより施設のクローズ情報や一般開放情報を発信するなど、施設の改善や業務の見直しを図った。
- ス 東扇島中公園の管理運営
  - 川崎マリエンに隣接する東扇島中公園の管理運営として、樹木剪定、芝刈、除草及び害虫駆除等を定期的に行い、公園利用者の利便性の向上に努め適切に管理運営を行った。
- セ 桜の森とコミュニティスペースの活用
  - 川崎マリエン敷地内にある桜の森や東扇島中公園に多種多様な樹木が植樹されていることから、これらの場所を市民が季節を感じ憩える場所とするためにテーブル・椅子を提供するなど、利用者の利便性向上のために適切な管理を行った。
- ソ 会議室・港湾事務室の環境美化
  - 会議室・港湾事務室の環境美化を図ることにより、清潔で快適な利用環境を整えた。
- タ 無料Wi-Fiの環境整備
  - 会議室及び研修室等において、無料Wi-Fiを利用した携帯電話、タブレット等によるネット環境を活用した会議や多目的な利用へのサービスの向上を図るため、交流棟3・4階会議室等に無料Wi-Fiの環境整備を行った。
- チ 外国人来館者への対応
  - 案内物・掲示物に英中韓の3か国語を標記するとともに、マリエン受付に翻訳デバイス(POCKETALK)を用意し、外国人来館者への対応を行うなど、サービスの向上を図った。
- ツ リフレッシュルームの活用
  - 交流棟9階にて運用を開始したリフレッシュルームを活用し、来館者の休息や食事場所として提供する他、クリスマスの時期には室内にイルミネーションの装飾を施すなど季節の装飾を行い、集客増を行った。
- テ 食事情の改善
  - 施設利用者の食事情の改善に向け調整を図り、交流棟1階での冷凍食品の販売に加え、市内事業者による弁当の販売を行い、利用者の利便性の向上を図った。
- ト 安全性の向上
  - 施設の案内表示、備品の保守管理を適切に行うとともに、体育室ホール周辺に監視カメラを新たに設置し、利用者の安全性の向上に努めた。



#### マリエン施設の利用者数（前年度との比較）

令和5年度		令和4年度	
316,668人		268,770人	
・会議室・研修室	16,775人	・会議室・研修室	15,792人
・展望室	66,122人	・展望室	63,356人
・テニスコート	35,294人	・テニスコート	27,017人
・ビーチバレー場	22,680人	・ビーチバレー場	22,006人
・体育館	8,576人	・体育館	5,079人
・川崎みなと祭り（メインイベント）		・川崎みなと祭り（メインイベント）	
	148,850人		117,072人
・その他（トレーニング室他）	18,371人	・その他（トレーニング室他）	18,448人

#### 4. インターネットサイト等による情報提供事業

川崎港の振興と宣伝及び当協会の事業、イベント等の周知を図るため、市民及び港湾・海事関係者並びに当協会の会員等にホームページ・フェイスブック・Xで随時情報を提供した。

また、マリエンと協会サイトのウェブアクセシビリティへの対応及び英語版による情報の提供を行い、より多くの方がサイトを便利に利用できるよう配慮に努めた。

- ・ホームページ

公益社団法人川崎港振興協会 <https://www.kawasakiport.or.jp/kyokai/>

川崎マリエン <https://www.kawasakiport.or.jp/>

- ・フェイスブック

川崎マリエン <https://www.facebook.com/kawasakimarien/>

- ・X

川丸くん @kawamaru\_kun

- ・その他の広報活動事業

川崎港及び川崎マリエンを広報するため、かわさき情報プラザへのイベントチラシ配布や下記の広報活動を行った。

- ・かわさきFM 生出演（毎月第4火曜日）

- ・タウンニュース川崎・幸版、多摩版 広告 掲載6回

- ・タウンニュース イベント告知記事、実施記事

- ・川崎市バス まど上ポスター掲出（6月30日～7月29日）

（9月19日～10月18日）

- ・JR鶴見線・南武線 まど上ポスター掲出（7月1日～7月31日）

- ・京浜急行線駅ポスター掲出 10駅（7月3日～7月30日）

- ・かわさき市バスマップ 広告掲載

- ・川崎マリエン館内イベント告知及びポスター掲出（通年）

- ・川崎港湾福利厚生センターにて各教室や写真・児童絵画コンクールの募集案内を掲示

- ・多摩区民祭 出店（10月21日）
- ・かわさき市民祭り 出店（11月3日）

## 【収益事業—1】

### ——川崎市施設の管理運営に関する事業——

#### 1. 川崎市港湾振興会館並びに東扇島中公園収益施設の管理運営

川崎マリエン並びに東扇島中公園の指定管理者として、港湾事務所等の収益事業部分やバーベキュー場を川崎マリエン並びに東扇島中公園の設置目的に従って適切に管理運営を行った。

- ・東扇島中公園内バーベキュー施設の管理運営

収益施設として、川崎マリエンに隣接する東扇島中公園内のバーベキュー施設の維持管理、案内、用具点検、有料のゴミ処分サービスを行い、利用者の安全と快適性を確保するため適切な管理運営を行った。

利用区画数	836区画（令和4年度	626区画）
無料貸自転車	420件（	521件）

#### 2. 自動販売機設置事業

川崎マリエン、東扇島中公園及び東扇島西公園利用者の利便性の向上を図るため、飲料水等の自動販売機を設置している。また、交流棟に冷凍食品の自動販売機を設置し、施設利用者の食事情の改善に努めた。

・交流棟	1台	・業務棟	2台	・連絡通路	1台	・展望室	1台
・テニスコート	3台	・西公園	5台	計	13台		

## 【収益事業—2】

### ——川崎港関連物品等の頒布事業——

#### 1. 川崎マリエンオリジナルグッズの製作、販売

多くの市民及び事業者に川崎港及び川崎マリエンに親しんでいただくため、マリエンに展示しているホオジロサメの剥製「かわジロー」に因んだサメのグッズの作成及び仕入れを行った。また、川崎港のシンボルキャラクター「川丸くん」の各種オリジナルグッズ等を作成して、川崎マリエン受付やガシャポンステーションにより販売した。

また、グッズ販売促進のため、ポスターや看板等によるPRを行い、キャンペーンとしておまけをつけるなどし、売り上げ増を図った。

#### 2. 体育館利用者のための消耗品の販売

体育館利用者向けにピンポン球、シャトルコック等、シャワー室利用者向けにシャンプー等を販売し、利便性の向上を図った。

## 【収益事業—3】

### ——ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の管理運営——

川崎マリエンビーチバレーコートがスポーツ庁からナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に認定されたことを受け、スポーツ庁から業務を受託し、国内トップレベルのビーチバレーボール選手が国内及び国際大会での活躍に向けてトレーニング等を強化できるよう、ビーチバレーコート並びに専用トレーニング室の適切な管理運営を行った。

## 【共益事業】

### ——会員を対象にした研修会、講演会の開催及び機関誌の発刊——

### 1. 会勢

- (1) 会員 267社
- (2) 役員 19人
  - 会長 1人
  - 専務理事 1人
  - 理事 14人
  - 監事 2人
  - 顧問 1人
- (3) 職員 15人
  - 事務局長（業務課長兼務） 1人
  - 業務課 5人
  - ポートセールス推進課 1人
  - 会館事業課 8人

### 2. 総会・理事会

- (1) 通常理事会
  - ・開催日 5月19日
  - ・場所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
  - ・議題
    - ①令和4年度 事業報告について
    - ②令和4年度 決算報告及び監査報告について
    - ③定款の変更（案）について
    - ④役員を増員（案）について
    - ⑤役員を選任（案）について
    - ⑥会員の入会（案）について
    - ⑦令和5年度 定時総会の招集（案）について
  - ・報告事項 職務執行状況の報告について

## (2) 定時総会

- ・開催日 6月14日
- ・場 所 川崎日航ホテル 11階 橋楓の間
- ・議 題 ①令和4年度 事業報告について  
②令和4年度 決算報告及び監査報告について  
③定款の変更(案)について  
④役員の増員(案)について  
⑤役員の選任(案)について
- ・報告事項 令和5年度 事業計画及び予算について

## (3) 通常理事会

- ・開催日 11月17日
- ・場 所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議 題 ①令和5年度 上半期事業報告について  
②令和5年度 中間決算報告について  
③会員の入会(案)について
- ・報告事項 職務執行状況の報告について

## (5) 通常理事会

- ・開催日 2月14日
- ・場 所 川崎マリエン 交流棟3階 第1会議室
- ・議 題 ①令和6年度 事業計画(案)について  
②令和6年度 予算(案)について  
③資金調達及び設備投資の見込み(案)について

## 3. 川崎港研修会

今年度は、会員店社の方を対象に川崎港についての理解を深めていただくため、当協会の齋藤会長を講師とし、「川崎港、川崎市の歴史を語る講演会」を座学研修として開催した。また、船に乗って川崎港を視察する研修会を会員店社の新入社員の方を対象に開催した。

### [ 講演会 ]

- ・開催日 7月24日
- 参加者 61人
- 内 容 川崎港、川崎市の歴史について
- 講 師 公益社団法人 川崎港振興協会 会長 齋藤 文夫

### [ 乗船研修 ]

- ・開催日 7月27日
- 参加者 25人
- 内 容 港湾局巡視船「あおぞら」に乗船し、海上から川崎港を視察

## 4. 川崎市港湾関係事業概要説明会

会員店社が川崎港において事業展開する際の参考となるよう、国土交通省関東地方整

備局京浜港湾事務所及び川崎市港湾局から講師を招き、公共事業、港湾振興事業、将来計画、川崎港の港勢等についての説明会を開催した。

- ・開催日 7月13日
- 参加者 54人
- 内容 講演 ①「川崎港臨港道路東扇島水江町線の施工状況について」  
講師 国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所  
川崎臨港道路担当 保全課長 齋藤 竜司 様
- 講演 ②「川崎港の取組」  
講師 川崎市港湾局 港湾経営部 整備計画課長 白井 啓 様

## 5. 物流研修会

港湾をとりまく物流の変化に対応し、会員各位の事業発展に資するため、令和5年度は日本大学法学部の南 健悟 教授を講師にお招きし、「法律から見た船員・港湾労働者の働き方改革」と題して、研修会を開催した。

- ・開催日 2月6日
- 参加者 60人
- 内容 「法律から見た船員・港湾労働者の働き方改革」  
日本大学 法学部 教授 南 健悟 様

## 6. 「港かわさき」の発刊

川崎港の現状、将来像、物流動向、イベント情報、港湾又は海に係わるエピソード等を掲載した機関誌を発刊し、会員店社に川崎港の最新情報を提供するとともに、市内行政機関、学校、図書館等にも配布を行い、川崎港の役割や魅力等について理解を深める一助とした。

### (1) 「港かわさき72号」

発行日 8月15日  
発行部数 1,000部

#### 【主な内容】

- ・「みなとで働く人々」 第10回  
～船を安全に入出港させるお仕事～ 株式会社 東洋信号通信社
- ・友好港「ベトナム・ダナン港」への訪問  
川崎市港湾局港湾振興部誘致振興課 担当係長 安保 伸晃 様
- ・連載「川崎臨海部埋立の歴史」 第10回 日本鋼管

### (2) 「港かわさき73号」

発行日 1月12日  
発行部数 1,000部

#### 【主な内容】

- ・「みなとで働く人々」 第11回 横浜税関 川崎税関支署
- ・川崎港・川崎市の歴史を語る講演会
- ・連載「川崎臨海部埋立の歴史」 第11回 東扇島ふ頭整備